



世界の南三陸へ……。オクトパス君とともに。

おもり
大森
たけひろ
丈広さん

南 三陸の復興を牽引してきたシンボリックな存在である「オクトパス君」。復興への歩を進めようと有志が結成した南三陸復興ダコの会の会長に今年6月、新たに就いたのが、南三陸町出身の大森丈広さん。東京や仙台でイラストやデザインの仕事をしていた丈広さんは震災を機に南三陸町へUターン。そのスキルを生かして、オクトパス君グッズの開発や広報を担ってきた。

「このまま続けていくか悩んだ時期もあったが、今はオクトパス君というブランドや世界観を作っているこの仕事に非常に充実感を覚えている」と話す。

そんな丈広さんは本業以外にも「南三陸ネイチャーセンター友の会」など、南三陸の自然を楽しみ学ぶ、有志の集まりにも参加している。「小さいときから海釣りをしたり、山でクワガタ採りしたりが遊びだった。地元に戻ってきたときに、その自然の素晴らしさを改めて実感したんです」と話す。遊び場だった志津川湾は、今年10月ラムサール条約に登録。「なんとなくいい町と想っていたことが、世界的にも認められて誇りに思える」という。

「このきつかけをどのように活用し、広めていけるかは町の人次第」と話す丈広さん。世界の南三陸へ……。オクトパス君とともに前に進んでいく。

TAKEHIRO OOMORI



合格祈願として人気の高いオクトパス君。「受験という人生の岐路に関われることに非常にやりがいを感じている」と丈広さんは話す。

毎月11日は「南三陸町安全・安心の日」

～12月11日は「要配慮者への支援に向けた活動を行う日」です～

要配慮者とは

「高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する人」をいうものとされています。要配慮者は、災害の発生時における避難行動や避難所での生活などにおいて配慮が必要とされ、また、災害の発生時に限らず日々の生活においても、家庭や地域における気配り・心配りが必要と考えられます。

要配慮者への気配り、心配りについて

日ごろから、例えば、振り込め詐欺の被害に遭わないよう、その日その日の家族の行動について朝食時に確認するといったことや、家庭内での事故防止について話し合い、できることから実践するといったことも、安心して暮らせる日々の生活（安全）を確保する上では、身近で重要な取り組みの一つです。

また、事件・事故に遭わないよう、遭わせないように、地域において目配り・声掛けを心掛けることも、地域全体の安全・安心の土台となるものと考えます。

日々のそうした取り組みは、災害発生時など、非常時における円滑な支援の実施につながります。年末・年始を迎え、家族・親戚が集うなどするこの時期、要配慮者のかたがたが安心して暮らせることのできる安全な環境について、改めて話し合いを持ちましょう。

☎ 総務課危機対策係 ☎46-1376

ネイチャーセンター準備室だより コクガンの渡り



今シーズンも湾内でコクガンの姿が見られ始めました。コクガンは、夏の間は遠く北極圏近くのシベリアで子育てをして、冬が近づくと子どもを連れて南へ移動する渡り鳥です。しかし、シベリアのどのあたりからやってくるのか、またどんな移動ルートで南三陸町までやってくるのかなどは、実はほとんど分かっていません。国の天然記念物で、かつ絶滅危惧種でありながら、その生態は不明な点が多いのです。

地球規模で移動する動物の移動を調べるにはどうしたら良いのでしょうか？近年よく使われる方法は、GPSを搭載した小型の発信器を使った調査で



す。コクガンにはちょっと我慢してもらい、小型の発信器を取り付ければ詳しい生態情報が得られるはず。南三陸町のラムサール条約湿地「志津川湾」にやってくるコクガンの生態が解き明かされる日も、そう遠くはないかもしれません。

☎ 農林水産課 ネイチャーセンター準備室 ☎25-9703